

国語総合 問題用紙

【一】次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

電子書籍の第一の難点は「どこを読んでいるのかわからない」ことである。

たしかに頁をめくると「ぱらり」と音がしたり、頁がたわんだり、反対側の活字が透けて見えたりと、紙の本を読んでいる状態を、擬似的には体験できる。だが、残り何頁であるかがわからない。いったい自分が物語の中のどの部分を、どの方向に向かって読み進んでいるのかわからない。

自分が全体のどの部分を読んでいるかを鳥瞰的に絶えず点検することは(あまり指摘する人がいないが)読書する場合には必須の作業である。というのは、ある文章が冒頭近くにあるか、中程にあるか、巻末が迫ったところにあるかによって、その文章の解釈可能性に大きな差異が生じるからである。

例えば、推理小説の場合、「いかにも怪しげな人物」が物語のはじめの方に登場してきた場合には、ある程度小説を読み慣れた読者は「この人は犯人ではなく、いわゆる「レッドヘリング」(読者を誤った推理に導くための偽りの手がかり)である可能性が高い」という推論を行う。作者の方は読者をミスリードするために次々と「レッドヘリング」を投じてくる。「残り頁数」はその真贋判定の重要な手がかりである。「残り頁数」がある限度を切ると、そこから後は「読者をミスリードするようなトリック」はもう出てこないからである。そういう「ポイント・オブ・ノー・リターン」が存在する。グラウンドレベルで読み進んでいる自分を「読み始めから読み終わりまでの全行程を上空から鳥瞰している仮想的視座」からスキャンする力がなければ、そもそも読書を享受するということは不可能なのである。その、消息は音楽を聴く場合と変わらない。

音楽というのは、「もう聞こえない音」がまだ聞こえ、「まだ聞こえない音」がもう聞こえるという、(A)意識の拡大を要求する。私たちはまるで当たり前のように「旋律」とか「リズム」とかいう言葉を用いているが、これは「もう聞こえない音」を記憶によって、「まだ聞こえない音」を先駆的直感によって、現在に引き寄せることで経験しているから言えることなのである。そして、この音楽的経験は、「もう聞こえない音」「まだ聞こえない音」の範囲が広ければ広いほど深く厚みのあるものになる。現在の前後数秒の音しか再生できないというショート・メモリーの聴き手と、数十分の交響楽の最初から今までのすべての楽音を今再生でき、それを踏まえてこれからの曲想の展開を予期しうる聴き手では、同一の楽音から引き出すことのできる快楽の質が違う。

私はその能力を「マッピング(地図上に自分の位置を記すこと)」と呼ぶのであるが、これは単に読書や音楽鑑賞に止まらず、人間が生きていく上で必須の能力なのである。

「おのれ自身を含む風景を鳥瞰する力」。ヘーゲルだったらそれを「自己意識」と呼ぶだろうし、フッサールだったら「超越論的主観性」と呼ぶだろう。別に何と呼んでも構わないが、それは人間が生きていく上で不可欠の能力である。そして、読書はその力を涵養するための好個の機会なのである。

私たちは物語を読んでいるときに、つねに「物語を読み終えた未来の私」という仮想的な消失点を想定している。読書とは、「読みつつある私」と、物語を最後まで読み終え、すべての人物のすべての言動の、すべての謎めいた伏線の「ほんとうの意味」を理解した「読み終えた私」との共同作業なのである。紙の本では頁をめくることが、「読みつつある私」と「読み終えた私」の距離が縮まり、それと同時に「読み終えた私」の感じている。愉悅が少しずつ先駆的に先取りされる。そして、最後のページの最後の一行を読み終えた瞬間に、ちょうど山の両側からトンネルを掘り進んだ工夫たちが暗黒の一点で出会って、そこに一気に新鮮な空気が流れ込むように、「読みつつある私」は「読み終えた私」と出会う。読書というのは、そのような力動的なプロセスなのである。

電子書籍はこの「読み終えた私」への小刻みな接近感を読者にもたらすことができない。紙の本という(B)の実体を相手にしているときには、「物語の終わりの接近」は指先が抑えている残り頁の厚みがしだいに減じてゆくと、この身体実感によって連続的に告知されている。だが、電子書籍ではそれが無い。仮に余白に「残り頁数」がデジタル表示されていても、電子書籍読書では、「読み終えた私」という仮想的存在には「残期待」が送られていないのである。(内田樹「活字中毒患者は電子書籍で本を読むか?」池澤夏樹(編)『本は、これから』所収)

問1 二重傍線部 a、c の漢字の読みを平仮名で答えなさい。

問2 空欄 A、B に入る適切な語句を次のア、カの中からそれぞれ一つずつ選び、記号で答えなさい。

ア、二次元 イ、三次元 ウ、主観 エ、客観 オ、空間 カ、時間

問3 傍線部1「ある文章が冒頭近くにあるか、中程にあるか、巻末が迫ったところにあるかによって、その文章の解釈可能性に大きな差異が生じる」とあるが、なぜそのように言えるのか。その根拠にあたる一文を探し、はじめと終わりの五字を抜き出しなさい。(字数にはカギ括弧、句読点を含む)。

問4 傍線部2「享受」、傍線部3「消息」の意味として適切なものを次のア、オの中からそれぞれ一つずつ選び、記号で答えなさい。

2「享受」

ア、受け入れる

イ、実行する

ウ、楽しむ

エ、深める

オ、教える

3「消息」

ア、事情

イ、目的

ウ、理由

エ、行方

オ、情報

問5 傍線部4「おのれ自身を含む風景を鳥瞰する力」として適切なものを次のア、オの中から一つ選び、記号で答えなさい。

ア、読書の際に、物語の結末がどうなるのかを予想する力。

イ、読書の際に、現在何頁目を読んでいるのかを把握する力。

ウ、読書の際に、自分がどのような立場で読んでいるのかを理解する力。

エ、読書の際に、自分が物語全体のどこにいるのかを知る力。

オ、読書の際に、読み始めと読み終わりを関連づける力。

問6 傍線部5「読みつつある私」とほぼ同じ内容を表している箇所をこれよりも前の部分から探し、二十字以内で抜き出しなさい。

問7 傍線部6「『読み終えた私』という仮想的存在にはパーティーの招待状が送られていないのである」の説明として適切なものを次のア、オの中から一つ選び、記号で答えなさい。

ア、「読み終えた私」がどこにいるのかわからないため、「読みつつある私」と出会えないということ。

イ、「残り頁数」がわからないため、現在どのあたりを読んでいるのかはつきりしないということ。

ウ、物語の結末が身体的に実感できないため、結末との距離感がはつきりしないということ。

エ、物語の終わりがデジタル表示されるため、物語の結末が明確になりすぎるということ。

オ、「読み終えた私」が仮想的であるため、「読みつつある私」の位置が不明確であるということ。

【二】 次の①～⑤の片仮名の語を漢字で書きなさい。

①観葉植物をサイバイする。

②キンキユウ事態が発生する。

③文化祭をモヨオす。

④人気商品に客がサットウする。

⑤冬は空気がカンソウする。

【三】 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

われわれは小学校入学以来、いやもつと前から真の意味で「語る」ことを完全に剥奪はくたつされている。だが、剥奪されたのか。両親であり、先生であり、友達であり、つまり周りにいるすべての人々がだ。しかも、こうした人々は戦前の暴君的父親や教師のように、「黙れ！」と暴力的にどなって黙らせるわけではない。「言い訳を言うな！」「口答えするな！」と頭から決めつけるわけでもない。(A)、「柔和な顔をくすさず、懸命に聞こうとする姿勢をとりながら、じつは語らせないのである。」

それはこういうことである。私が「語る」というとき、それは言葉を発するという意味より狭い意味で使っている。西洋哲学において「対話(ディアローグ)」という言葉が指し示すものに近い。(B)、「どこまでも一対一の関係であり、個人がそのつど特定の相手に「語る」というかたちを意味している。そこにいかに大勢人がいても、このかたは基本的に維持される。場合によってAはそこにいる100人すべてに話しかける場面があるかもしれない。しかし、それを受けて、BはまさにA個人に対して「それはおかしい」と発言できなくてはならない。

(C)、「こうした「対話」の原則をこの国ではよってたかつて押しつぶそうとする。その暴力はいくら強調してもしすぎることはない。たとえば、「何でも質問しなさい」と言いながら、おおかたの先生は発せられる質問が特定の子Aの質問であることを認めようとしぬ。そこに自分とAとの一対一の場が開かれることを認めようとしぬのである。」

教室における質問とは、質問してよいとき、質問してよい内容、質問してよい方法……などかかずの規準をクリアしたものでなければならぬ。だから、多くの子どもはそれを考えると質問できなくなるのである。いや、さらに強力な口ふさぎがある。質問は「みんなのことを配慮した」質問でなければならぬ。自分勝手な「質問」は「法度」なのである。いや、さらにまだある。はじめのうちはニコニコ聞いている先生も、ある子が「でも、先生……」「まだわからない、先生……」としつこくすがりつくことを嫌う。教室という場でだれも質問を独り占めしてはいけない。それは「わがまま」なのである。

とすると、「何でも質問しなさい」という言葉がじつは大ウソであることを子どもたちは次第に全身で見抜いてゆく。そして、子どもたちは知らず知らずのうちに、むしろ「語らないほうが得」であることを学んでゆくのである。読者が自分の小学校、中学校、高等学校の教室風景をチャリとでも思い出しさえすれば、いかにものわりのよい先生でも、この点に関しては「管理大好き人間」であったことに気づくであろう。「語る」ことに「これだけの枠をはめて「語れ！」と言うのは、鎧よろいを着たまま「泳げ！」と言うのに等しい。とても残酷なことなのである。先生は以上の規準をすべてみたした「正しい」質問しか受け入れてくれない。そんなめんどうなことをだれがしよう。大努力のすえ質問したとしても、なんらかの「掟」にひっかかり傷つく。その結果、嫌な思いをするのだ。だが、質問しなければ、不愉快なこともない。鎧よろいを着たまま泳げと言われて泳ぐヤツが馬鹿なのだ！水に飛び込まなければ苦しむこともない。

²子どもたちが「こうした考えに傾いてゆくのもごく自然な気がする。そして、子どもたちは質問しなくとも発言しなくともはげしくとがめられないことを知っている。沈黙したほうが「得」なのだ。(D)、「みな沈黙するのである。」

(中島義道『うるさい日本の私』)

問1 二重傍線部a、b、cの漢字の読みを平仮名で答えなさい。

問2 空欄A、Bに入る適切な語句を次のア、イ、ウの中からそれぞれ一つずつ選び、記号で答えなさい。

ア、たとえば イ、つまり ウ、だから エ、むしろ オ、だが

問3 傍線部1「これだけの枠」の内容を具体的に述べている文を三つ探し、それぞれ、はじめと終わりの五字を抜き出さなさい(字数にはカギ括弧、句読点を含む)。

問4 傍線部2「子どもたちがこうした考えに傾いてゆく」に関する次の問いに答えなさい。

- (1)「こうした考え」を端的に表している箇所を探し、十字以内(カギ括弧、句読点を含む)で抜き出さなさい。
- (2)「子どもたちがこうした考えに傾いてゆく」のはなぜか。その理由を五十字以内で説明しなさい。

令和3年度 英語

※解答はすべて解答用紙に記入すること。

1. 次の英文を読み、設問に答えなさい。(配点 50点)

Words aren't the only way we say things. By leaning forward during a conversation, or narrowing our eyes, or folding our arms, we also communicate feelings. With as much as 70 percent of (1) we say coming from this type of non-verbal communication, it's clearly important to be aware (2) our body language. That's especially true when dealing (3) people from other cultures, since a smile in Baltimore may not mean the same as a smile in Beijing.

There are several types of body language. With gestures, we use our arms and hands to show moods, ask questions, and share information. Our faces are very (A), with more than 90 (ω) muscles working to send messages of surprise, happiness, (ω) anger, and so on. There's also kinesic communication, which refers (4) our body shape. By walking in a stooped position, we show we're sad, while a straight posture displays (ω) confidence. Other types of body language include our tone of voice, clothes, and the physical distance between people.

Since body language differs greatly (5) place to place, it's easy to misunderstand what someone from another country means by a gesture or expression. Smiling, (6) instance, shows happiness or friendliness in North America. Yet in East Asia, it can be a sign of discomfort or embarrassment. Shaking one's head may mean "no" in England while carrying the opposite meaning in Bulgaria. Also, many daily actions, from greetings to shaking hands, vary in the way they're done around the world.

Being knowledgeable about the body language of friends, clients, and colleagues — as well as your own unspoken messages — can go a long way towards (B) understanding and avoiding miscommunication.

kinesic: 動作による

問 1. 本文中の空白 (1) ~ (6) に入る最も適切な単語を下記の中から選び、その記号を書きなさい。

- A. from B. for C. in D. with E. what
F. of G. where H. to I. after

問 2. 本文中の空白 (A) には、expression の形容詞形が入る。その語を英語で書きなさい。

問 3. 本文中の下線部 (a) の発音は以下のどれか、下記から選び、その数

字を書きなさい。

1. /mʊskɪz/ 2. /mæskɪz/ 3. /masɪz/

問 4. 本文中の下線部の名詞 (b) と (c) の形容詞形を書きなさい。

問 5. 本文中の空白 (B) には、improve の動名詞形が入る。その語を英語で書きなさい

問 6. 本文中では、表情や身体のしぐさ以外のボディランゲージのタイプに含まれるものとして、3点挙げている。その3点を日本語で書きなさい。

問 7. 次の文について、本文の内容と一致するものには○、一致しないものには×を付けなさい。

ア. 私たちは、会話中に身を乗り出したり、目を細くしたり、腕組みをしたりすることでも、感情を伝えている。

イ. 驚きや喜びや怒り等の表情を示す筋肉は50に満たない。

ウ. 首を振るしぐさは、イングランドでは否定を意味するが、ドイツでは反対の意味になる。

2. 次の A ~ E の各語の中に、最も強く発音する音節の位置が他と異なる語がそれぞれ1つある。その語の数字を書きなさい。(配点 10点)

- A. 1. en-ter-tain 2. en-ter-prise 3. com-bi-na-tion 4. rep-re-sent
B. 1. in-ter-fere 2. in-ter-pret 3. re-mem-ber 4. con-tin-ue
C. 1. math-e-mat-ics 2. fun-da-men-tal 3. sci-en-tif-ic 4. ge-om-e-try
D. 1. re-fer 2. con-cise 3. pre-cise 4. com-fort
E. 1. ig-no-rance 2. in-no-cence 3. ne-ces-si-ty 4. cal-en-dar

3. 次の A ~ E の各語の中に、下線部の発音が他と異なる語がそれぞれ1つある。その語の数字を書きなさい。(配点 10点)

- A. 1. ancient 2. fame 3. statue 4. nature
B. 1. wear 2. beer 3. dear 4. clear
C. 1. prove 2. lose 3. bloom 4. dove
D. 1. exist 2. anxious 3. example 4. exhausted
E. 1. ache 2. chill 3. chance 4. archery

4. 次の各文の () に入る最も適切な語句を 1 ~ 4 から選び、その数字を書きなさい。(配点 15 点)

A. I like () tennis in my free time.

1. playing 2. play 3. to have played 4. played

B. People who live next door or relatively close to another are ().

1. parents 2. nephews 3. neighbors 4. cousins

C. The meeting has been put () till next Friday.

1. away 2. off 3. by 4. on

D. Was your daughter () about her birthday party?

1. exciting 2. excitedly 3. excitement 4. excited

E. This food tastes terrible! I couldn't eat it () I were starving.

1. after 2. because 3. even if 4. only when

5. 次の A と B の会話で、文中の空所 (1) ~ (5) に入る最も適切な文を下段の英文から選び (1 回のみ)、その記号を書きなさい。(配点 15 点)

A: Good morning, Mr. Collins. How is your incision* today? (*手術による傷口)

B: (1) But the pain is not as bad as before.

A: That's good to hear. You'll feel a little better each day. (2)

B: All right. (3) All that delicious looking food on TV makes my mouth water.

A: (4) Well, you drank water yesterday. Was everything all right after that?

B: Just fine.

A: Good. And I see your bowels have started to move. Do you think you can start eating?

B: Oh, I'm still afraid to do that. Isn't it too soon?

A: I know you are worried, but don't be. (5)

B: I see. I guess it's okay.

-
- a. All I think about now is food.
b. You'll eat real food like soup little by little.
c. So just be patient a little longer.
d. It hurts every time I cough or move.
e. A big appetite is a sign of good health!